

(2) ヒトの交流により賑わう(クルーズ・まちづくり)

オール大阪でのクルーズ客船誘致

大阪都市魅力創造戦略※の重点エリアである築港・ベイエリア地区でのクルーズ客船母港化の実現に向け、天保山岸壁をメインの客船ターミナルとして誘致活動に取り組みます。大阪港の中央突堤北岸壁、鶴浜岸壁に加えて、堺泉北港等も紹介し、「お断りゼロ」をめざします。

また、大阪の認知度を向上させるため、世界文化遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」をはじめ、府域の多様な観光素材を活かした寄港地観光メニューをさらに充実させ、地元市町等と連携した船社への誘致活動を行います。



【天保山岸壁】



【中央突堤北岸壁(手前)】



【堺泉北港大浜埠頭第5号岸壁】

※大阪都市魅力創造戦略2025

大阪府全域で大阪の魅力をさらに向上させるため、大阪府及び大阪市共通の戦略として策定しました。

『大阪・関西万博のインパクトを生かした都市魅力の創造・発信』、『安全・安心で持続可能な魅力ある都市の実現』、『多様な主体が連携し、大阪全体を活性化』という3つの基本的な考え方のもと、10のめざすべき都市像を定め各種施策を推進しています。

築港・ベイエリア地区では、このうち“大阪ならではの賑わいを創出する都市”をめざすものであり、大阪の人々が誇りや愛着を感じ自慢できる、大阪ならではの賑わいを創出する都市の実現に向け、クルーズ客船母港化をめざします。

○クルーズ客船母港化構想の実現に向けた具体的取組み

■ハード面の取組み

- ・岸壁等整備(22万トン級対応)
→ 令和4年度に供用開始予定
- ・客船ターミナル整備
→ 令和6年に供用開始予定



【新ターミナルのイメージ図】

■ソフト面の取組み

- ・積極的なポートセールス
→ 「クルーズコンベンション」への参加、欧米等船会社、国内船会社等への個別訪問等
- ・受入体制の充実
→ 入港時の歓迎演奏、セレモニー、マスコットキャラクターによる出迎え、インフォメーション、両替など
- ・非常時も想定した受入環境の整備
→ 船内でウイルス感染症が発生した場合など非常時も想定し、周辺エリアにおいて受入施設を確保するなど、関係機関と連携した安全・安心の受入環境づくりを進める。

○寄港地観光メニューの充実

府域の多様な観光素材を活かし、大阪府域全体へのクルーズ客船の乗客の訪問促進、クルーズ客船寄港による観光振興・地域活性化を図ります。



【世界文化遺産「百舌鳥・古市古墳群」】



【岸和田だんじり祭】

海上交通による交流機能の充実

国際観光拠点の形成をめざしている大阪港夢洲地区において、万博等を契機とした今後見込まれる旅客輸送需要に対応するため、周囲を海に囲まれた夢洲の立地を活かした魅力ある交通ネットワークの形成を図ります。

具体的には、関西国際空港や神戸空港などの大阪湾内の拠点を結ぶネットワーク、また、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)、海遊館などの近傍の集客施設や水都大阪(水の回廊)、淀川舟運と連携したネットワーク、大阪湾と瀬戸内・西日本を結ぶネットワークなどの海上交通による交流機能の充実をめざしていきます。



【大阪港(夢洲)を中心とした海上交通ネットワーク(イメージ)】

さらに、夢洲の小型栈橋に隣接してクルーズ客船用岸壁を整備した場合には、小型旅客船による関西国際空港との接続によって「フライ&クルーズ」の促進が期待でき、また神戸や大阪市内との接続によって、クルーズ客船の乗客への多様なオプションツアーの提供やエクスカッション※の利便性向上につなげることが可能となります。

※エクスカッション…訪れた場所で案内人の解説に耳を傾けながら参加者も意見を交わし、地域の自然や歴史、文化など、さまざまな学術的内容で専門家の解説を聞くとともに、参加者も現地での体験や議論を行う「体験型の見学会」のこと。

みなと・海岸のにぎわい創出

沿岸市町、企業等と連携した港湾緑地の活用、また、みなと・海岸特有のロケーションや景観等を活かしたにぎわい・魅力創出に向けて、引き続き取り組みます。さらに、地域特性を活かした地方港湾の再生や親しみのある海岸づくりなど、地元市町のまちづくりに併せたにぎわい、憩いの創出に協力します。

